

地域産業支援委員会第4回例会議事録

2016.4.1 発行 地域産業支援委員会 委員長 末松正典

1. 日時：2016/3/26（土）13:00～16:00
2. 場所：九州本部 会議室
3. 出欠（敬称略）：赤石、味澤、大里、小出、古賀、末松
【出席者、欠席者】 中村、西尾、松原、森川、八百屋、山田、吉田
[オブザーバー出席：長野副本部長]
(欠席委員7名(赤石、小出、松原、森川、八百屋、山田、吉田)からは決議一任を頂いています)

4. 予定議題

1) 各グループのこれまでの活動状況報告（事前配布資料類は以下）

- ★第1Gr：資料①-1：H27年度活動経過、資料①-2：活動報告(九州本部へ提出分)
資料①-3：H27年度活動総括とH28年度の展開、資料①-4：地域産業支援委員会会則(レビューのため)
資料①-5：H28年度計画と組織体制、資料①-6：H28年度活動計画(九州本部提出予定資料)
資料①-7：委員追加案、
- ★第2Gr：資料②-1：産総研での技術相談(1) 資料②-2：産総研での技術相談(2)
資料②-3：2Gの活動報告、資料②-4：2G進捗状況表
- ★第3Gr：資料③-1：九州知財交流会(1)、資料③-2：福岡県工業技術センター訪問
資料③-3：九州経済産業局地域経済部技術計画課訪問、資料③-4：ニュービジネス協議会訪問
資料③-5：産総研九州センター訪問、資料③-6：二月会参加報告、資料③-7：中小企業団体中央会訪問
資料③-8：九州大学訪問、資料③-9：中小機構訪問、資料③-10：九州知財交流会(2)
資料③-11：九経局フォーラム参加報告、資料③-12：第2回特許取得活用支援事業会議参加議事録
資料③-13：ものづくり・商業・サピース新展開支援補助金書面審査委員募集案内
資料③-14：同上応募者リスト
- ★第4Gr：資料④-1：欠番(⑤-1に移動)、資料④-2：企業内技術士調査表主旨文
資料④-3：調査表サンプル、資料④-4：支援実施例集
- ★第5Gr：資料⑤-1：各種支援事例(味澤先生)

2) H27年度活動の総括とH28年度の計画について：

- (1) 会則のレビュー：資料①-4
- (2) H27年度活動の総括とH28年度の計画の適否：資料①-3
- (3) H28年度計画と組織体制：資料①-5
- (4) H28年度活動計画(九州本部提出予定資料)；資料①-6
- (5) 委員追加(補充)について：資料①-7

5. 議題に対する結果(決定事項など)：

5. 1 第1グループ：【文責：末松】

【H27年度活動状況】

- 1)各グループが実施した活動日と内容について整理した帳票(資料①-1)、また九州本部へ提出する「H27年度活動報告」(資料①-2)を紹介。
- 2)資料①-2参照：12月以降の活動としては、外部機関へ訪問した情報交換に加え、新たな活動には、①産総研九州センターが受けた企業からの技術相談対応、②九州知財交流会への参加、③福岡県中小企業団体中央会から依頼された「ものづくり補助金審査員」の登録協力、がある。

【H28年度の予定】

- 1)資料①-4の会則レビューにより、変更なしでH28年度も進める。
- 2)資料①-3、資料①-5に基づいたH28年度計画と組織体制で進める。
- 3)資料①-6：H28年度活動計画（九州本部提出資料）では、会則には3名までの副委員長が認められているので、味澤先生を新たに就任いただくこととした。
例会日程のうち、第1回を6/11（土）10:00-12:00、第4回は2017.3.4（土）に設定することとした。
- 4)資料①-7：委員補充については、会則で定めた定員16名に対し3名余裕があるので、次の方に打診することとした（田口宏之、松永榮八郎、久富浩明）。

5. 2 第2グループ：【文責：味澤】

【H27年度活動状況】

- 1)「資料②-1・2」について：（「配布資料」参照）
吉田委員が広く技術士会（統括本部等）に対応可能な技術士を探し、相談先のK社へ対応案を提示したが、K社からは（そぐわない対応案だったのか、理由不明）引続きの支援要請はなかった。
（本件は、資料②-2配布以降、吉田委員からの経過報告として、末松委員長が報告）。
- 2)「資料②-3・4」について：（「配布資料」参照）
 - i)『「企業内技術士」の支援事業への参画の在り方』についての「調査資料」を作成した（資料④-2,3）。
調査の要不要も含め、H28年度第1回定例会議で諮りたい。
 - ii)「技術士会会員の支援実施例集」をまとめた（資料④-4）。昨年の産総研九州センターが主催した「九州・沖縄産業技術オープンデー」での展示資料の基と成ったもので、その後「+α」した資料である。
委員会としての活動実績資料として、対外的に使用する「資料」とするか、単に内部資料として保存するに留めるか、その扱いについて諮りたい。
尚、新規実績については調査し追記して行きたい。（本件、「第4G活動」とリンク）。
 - iii) H27年度第2回例会で報告した『「(他学協会等)技術の相談」窓口』の現状調査、及び『九州本部事務局文書管理簿抜粋（セミナー(フェア)等出展実績等調査)』は活動実績として残して置きたい。

【H28年度の予定】

- 1)『「企業内技術士」の支援事業への参画の在り方』についての検討・調査。
- 2)技術士活動の場として、「会員による活動グループ登録制度」活用の可能性等についての検討・調査。
- 3)『「技術の相談」窓口』の実績調査と、活性化についての検討及び方策案の提案。
- 4)引続き、技術士会として参画（出展等）が有効と思われる「新規セミナー（フェア）等」の調査・発掘に努めたい。
- 5)「技術士会会員の支援実施例集」の新規実績の追記。（本件「第4G活動」とリンク）。

5. 3 第3グループ；【文責：古賀】

【H27年度活動状況】

- 今年度連携強化を図った外部機関は12であり、各活動への参加者が資料に基づき以下の報告を行った。
- 1)九州知財交流会（1）【味澤】知財を活用した中小企業向け融資の促進の説明等について
 - 2)福岡県工業技術センター訪問【末松】九州本部の技術相談窓口体制整備の報告等
 - 3)九州経済産業局地域経済部技術計画課訪問【味澤】九州本部の新体制、「技術の相談」窓口等の報告
 - 4)ニュービジネス協議会訪問【末松】九州本部の新体制、「技術の相談」窓口等の報告
 - 5)産総研九州センター訪問【末松】九州本部の新体制、「技術の相談」窓口等の報告。相談内容によっては連携していきたいとの意見あり。
 - 6)二月会参加報告【味澤】（有）佐賀段ボール商会、イジゲン（株）、（株）アドアトラス、（株）トライテックのプラン概要説明
 - 7)中小企業団体中央会訪問【古賀、末松】当日は補助金の審査員に技術士会の協力必要なし、とのことだったが、その後補助金募集の回数・時期の関係で対応できなくなり、3月に約20名の協力を求めてきた。結果として、23名の協力者候補を得る。

- 8)九州大学訪問【古賀】7月に要求されていた技術リストを持参したが、文書による手続きなしに技術相談の相互協力を進めることが可能となる。しかし、現在のところ、九大からの紹介案件なし。
- 9)中小機構訪問【味澤】九州本部の新体制、「技術の相談」窓口等の報告。相談費用は2〜3万円/拘束日が多い。
- 10)九州知財交流会(2)【味澤】横田室長挨拶、美濃氏講演「知財総合窓口の紹介等」
- 11)九経局フォーラム参加報告【味澤】地方創生に向けた知財金融フォーラムに関する3題の講演
- 12)第2回特許取得活用支援事業会議参加議事録【末松】事業名がH28から知財総合支援窓口運営業務へ

【H28年度の予定】

- 1) 組織体制はH27と同じ
- 2) 活動内容もH27と同じく「外部機関(産学官)との連携強化の継続」であるが、重要な連携対象にはさらに訪問頻度を上げることが必要

5. 4 第4グループ：【文責：味澤代筆】

【H27年度活動状況】

- 1) 「技術士会会員の支援実施例集」をまとめた(資料④-4)。昨年の産総研九州センターが主催した「九州・沖縄産業技術オープンデー」での展示資料の基と成ったもので、その後「+α」した資料である。委員会としての活動実績資料として、対外的に使用する「資料」とするか、単に内部資料として保存するに留めるか、その扱いについて諮りたい。
尚、新規実績については調査し追記して行きたい。(本件、「第2G活動」とリンク)。
- 2) 産総研九州センターが主催した「九州・沖縄産業技術オープンデー」(場所：サンメッセ鳥栖、H27年12月2日)に出展。

【H28年度の予定】

- 1) 産総研九州センターが主催する「九州・沖縄産業技術オープンデー」(場所は福岡市内を検討中と聞いている)への出展。
- 2) 「技術士会会員の支援実施例集」の新規実績の追記。(本件「第2G活動」とリンク)。

5. 5 第5グループ：【文責：末松】

【H27年度活動状況】

- 1) 機械部会が主催する金曜例会のWeb中継を、ものづくり部会と共催して継続実施。
- 2) 資料⑤-1：技術指導例を味澤先生から紹介していただいた。

【H28年度の予定】

- 1) 機械部会が主催する金曜例会のWeb中継は、ものづくり部会と共催して継続実施する。
- 2) 次回の技術指導例は吉田剛副委員長からいただく予定。

5. 6 その他：

- 1) 地域産業支援委員会の例会時の資料類と議事録の保存・保管について：
九州本部のパソコン内にフォルダーをつくってもらって、保存・保管することとした(九州本部事務局の唐田さんへ依頼済み)。保管資料類は、例会2(H27.9.5開催)以降の書類とする。
- 2) H27年度の活動で特記すべき項目には以下があげられる。
 - ・H27年11月に行った、技術相談Web更新(アドバイザー登録など)。
 - ・福岡県中小企業団体中央会から依頼された「ものづくり補助金審査員」の登録において、技術相談窓口の吉田副委員長、及び九州本部長名で各委員会と部会への周知協力を得て23名を紹介。

以上